

「バリアフリー食“凍結含浸”」ワークショップ活動報告

H24.11.6 ワークショップ事務局

1 第69回全国老人福祉施設大会（広島大会）

日時：平成24年10月23日、25日

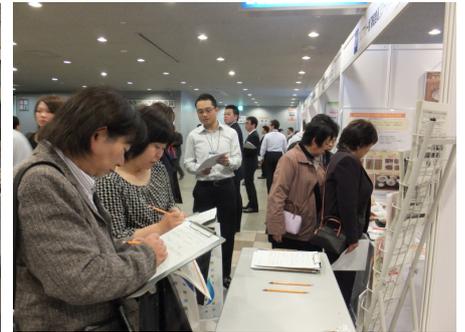
場所：広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）



今大会参加人数は、約2,600名とのこと

- 全国老人福祉施設大会は、全国から介護施設の経営者や職員が参加される大会です。
- 広島発の「凍結含浸」を全国に向けて発信し、介護施設や介護現場にかかわる方々に対して認知度を高める上で効果的なPR機会のひとつであると考え、当ワークショップとして出展し、大会参加者への周知を図りました。

2 展示PRの様子



ワークショップの紹介とともに実際の商品サンプルやカタログを展示紹介

- 大会初日の23日、最終日の25日（午前中）の1日半の展示期間中、当ワークショップの展示ブースには、約150名の方が立ち寄り、多くの方が熱心に説明を聞いてくださいました。
- また、介護機器展示の資料冊子には、凍結含浸のPR広告を掲載することができました。

3 ブース来場者認知度アンケート結果（概要）

① 回答者 18名

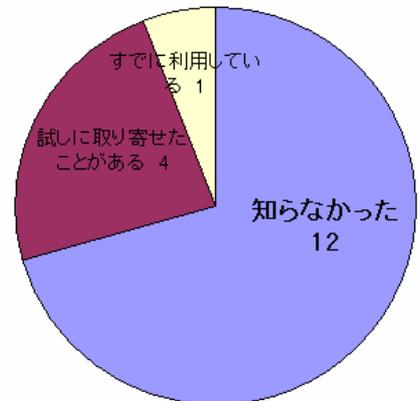
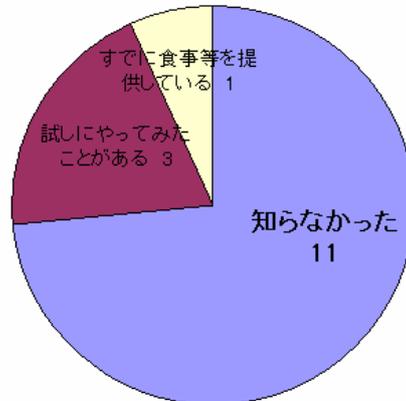
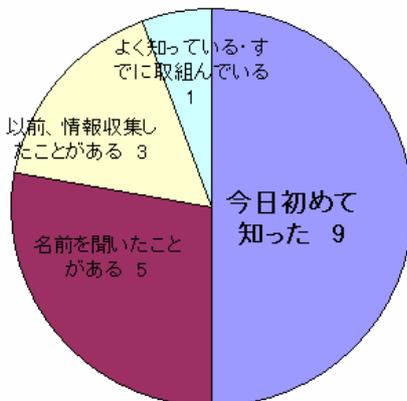
【内訳】職種別 管理栄養士6名、経営者等5名、介護支援専門員3名、介護福祉士2名、無回答2名
所在地別 県内4名、県外14名

② 凍結含浸についての認知状況

Q 凍結含浸について

Q 凍結含浸調理が可能である

Q 凍結含浸食品が販売されている



4 総括

今回の出展PRにおいて、ブース来場者との会話やアンケート結果から、全国的にみたととき、介護施設関係者での凍結含浸の認知度としては4人に1人が知っている程度と思われました。専用調味料を用いた調理や凍結含浸食品の利用なども含めて、一層の認知度向上に努めたいと思います。